



1.院生による地域教育活動 [2013年10月8日(火)、15日(火)]

緑環境景観マネジメント研究科の2年生が県立淡路高等学校(淡路市)、花と緑と海のめぐみ系列、環境創造コースの2年生の授業の講師を務め、日頃学んだ成果を地域の教育活動で実践しました。



緑環境景観マネジメント研究科の2年生が淡路市立学習小学校(淡路市)3年生45人の環境体験学習の講師を務め、キャンパス内や周辺の植物について学んだ成果を地域の教育活動で実践しました。

2.佐野小学校と周辺の里山で環境体験学習「木の実!草の実!あつめてみ!」 [2013年11月12日(火)]

身近にある二次的自然に目をむけるきっかけを与えることを目的に、学校近隣を散歩し、タネをコレクションすることで、身近な場所に多様な植物がみられることを学びました。

また、教室にもどってこれらのタネを形態の特徴にもとづいてグループ分けし、それぞれの散布様式に関連したゲームやクイズを通して、種子散布戦略の面白さを学びました。散歩中には、エビヅルやイヌビワの果実を試食し、それによって被食動物散布という散布様式を学びました。



学校の周辺を散歩しながらタネをコレクションしているところ



教室にもどって、集めたタネのグループ分けをしているところ

3.北淡中学校とのiPadを用いた遠隔交流授業 [2013年11月14日]

本事業は、中学生の研究成果(淡路の動物)について、緑環境景観マネジメント研究科の藤原道朗教授、嶽山洋志講師の2名が、iPadを用いて遠隔でコメントを行いました。

この交流授業を担当した北淡中学校の先生からは、「生徒に感想を書かせたところ、本当に良い体験になった、もっと質問してみたかった、などを書いており、専門の先生方に質問をして答えていただくという生徒にとって普段はできない貴重な体験をさせていただけたんだと実感しました」と評価をいただきました。



園芸学校から中学生の発表に対してコメントしている様子(藤原教授)



遠隔授業での北淡中学校の様子

4.オープニングイベントの開催 (共催:洲本市、南あわじ市、淡路市、淡路県民局) [2013年11月14日]

200名近い来場者の中、盛大にオープニングイベントが開催されました。

兵庫県立大学教員による地域に関する教育・研究活動の取り組み事例及び今後の展開計画の紹介、淡路地域における先進的活動を行っているリーダーからの取り組み事例紹介及び兵庫県立大学COC事業への今後の期待、兵庫県立大学学生による地域に関する研究などが発表されました。



あわじ環境未来島構想系プロジェクトリーダー(藤原教授)による事業趣旨説明



オープニングイベント会場風景

総合討論では、「“地域”とは何か」「住民の視点から地域の将来に望むこと」「兵庫県立大学が地域と連携してCOC事業に取り組んでいくにあたっての決意」などについて活発な議論が行われました。

このオープニングイベントをきっかけに、地元自治体、地域団体、地域住民の方々とのつながりを深め、大学と地域が一緒になって地域課題に取り組み、また人材育成を行う、COC事業を展開してまいります。